平成30	事務事業評価表 Α ( 平成29年度 の)								の実績評価)					し八十万口											
十級。	一尺					<del></del>	<b>学来</b> 0	TIW Z	<u> </u>	•		19,Z3-	十区	U) <del>X</del> i	限。十世	<b>/</b>		平	成	29 :	年		4 月	10	
事務事	*************************************		  桜   筑西  C周辺都市整備推進事業								事業区分						担当								
尹扬尹	未口		投川り		n K5 Ab i l	1 1 1 1 1 1 1 1	上匹尹为	*						新規/約	迷続				事務	8事業N	lo. (	050	1020	0004	115
				政策体	系上σ	)位置付	tt							単独/著	甫助					所属課			0252	201	
政 総合語	計画の施	策名		0501	計i	画的な	土地利	用の	推進					主要事	業				Γ.	川馬味			地域開	発課	
策	政策名		0	5 快道	喜な適	らしの	まちづ	くり					市長	・マニフ	フェスト										
体	施策名		0	1 <b>a</b> ti	画的な:	土地利	甲の推	進					Ħ	R来P J	事業				グ	ルーブ	r		地域開	発G	
系	手段名		O:	2 2	邹市拠,	点や工	業拠点	の形成	戉				合併	#建設計	一画事業										
財務会計上の位置付け											lull.	事業	期間												
予算科目	会計 款 項 目			事業	性 細 一般会計							単年	F度繰返	(	年度~)										
		02	01	16	01	00		企	業誘致	推進事	事業			ì	期間	限定の	D場合、	、総招	设入组	量を(	3)	投入	、量のも	5側に	記入
法令根拠	都市計画	可法等	Ē																						
$[D_0]$ 1	車級重	関性の	TH (H) (H)	据 (マ	(h 1)							•													

## (1)事務事業の概要

・主要事業・市長マニフェスト · 未来PJ事業 • 合併建設計画事業

## ①事務事業の概要(事務事業の全体像)

平成20年4月に北関東自動車道桜川筑西ICが開通し、これを契機とした地域 振興が望まれた。桜川市総合計画においても、インターチェンシ周辺整備検討 事業として位置付けられていた。

事業として位置的けられていた。 平成21年4月には、桜川筑西に周辺整備構想を策定し、さらに事業を推進するための桜川筑西に周辺地区整備計画を平成25年6月に策定している。 現在は、長方準工業地域と大和駅北側の開発整備計画を進めるため、測量調査に着手し地権者との用地交渉を行い、さらにはこの開エリア内に市立病院建 設計画も取り入れた計画で事業を進めている。

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の手順】

・ (1社会経済動向を勘案し、整備方針等を立案 ⇒ 桜川未来プロジェクトを通して、整備方針を検討 ⇒ 再検討などを通し、精度を高め企画する ②計画に基づき、市が実施すべき事業を実施

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 29年度 30年度 31年度 28年度 32年度 ①手段 (担当者の活動内容) 単位 4)活動指標 (活動量を表す指標) (目標) (実績) (実績) (計画) (目標) 未来プロジェクト開催回数 0.00 3.00 3.00 0.00 O.OC• 桜川筑西IC周辺地区(大和駅北地区)整備計 企業ヒアリング 社 5.00 3,00 3,00 0.00 0,00 画の検討 ・ 事業に関係する地権者対応 地権者説明会等の開催回数 6.00 2.00 200 0.00 O.OC長方準工業地区内への企業誘致の推進 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 29年度 30年度 32年度 28年度 31年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) 単位 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) IC周辺地区の土地所有者数 70.00 70.00 70.00 40.00 0.00 I C周辺地区の土地所有者 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.0028年度 (実績) 29年度 31年度 32年度 30年度 (対象における意図の達成度 を表す指標) (この事業によって対象をどう変え ⑥成果指標 単位 (目標) (実績) (計画) (目標) IC周辺地区への企業等誘致数 0.001.00 1.00 0.000.00칶 桜川筑西IC周辺地区の整備方針を明確に し、土地利用の誘導並びに企業誘致を推進 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 する。 0.00 0.00 0.00 0.00 0,00 28年度 29年度 30年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (実績) (計画) 総投入量 国庫支出金 千円  $\cap$  $\overline{C}$ 0 県支出金 千円  $\overline{\bigcirc}$  $\overline{\phantom{a}}$  $\overline{C}$ 事 地方債 千円  $\cap$  $\cap$  $\cap$ O 投 源 使用料•手数料 千円 0 0 0 訳 その他 千円  $\overline{C}$ 0 -般財源 千円 38,630 344,964 1,701,904  $\cap$ 事業費計(A) 千円 38,630 344,964 1,701,904  $\overline{\phantom{a}}$ 正規職員従事人数 4.00人 4.00人 4.00人 2,801.00 3,500,00 3,000,00 = 件 述べ業務時間 問部 10,238 355,202 8,775 1,710,679 人件費計(B) 千円 8,193 タルコスト(A) + (B) 千円 46,823 29年度事業費 実績(千円) 30年度事業費 予算(千円) 13 委託料 41,751 13 委託料 245,874 15 工事請負費 255,009 14 使用料及び賃借料 1,136 28,204 17 公有財産購入費 15 工事請負費 1,194,840 22 補償補填及び賠償金 17 公有財産購入費 20,000 209,824 22 補償補填及び賠償金 50,230  $\sigma$ 内 訳 344,964 1,701,904 (4) 当該年度の実施内容 30年度の事業内容 31年度の事業内容 32年度の事業内容 ※下記に該当する事業は、年 度ごとに事業内容を記入する

	事務事業名		IC周辺都市整備推進事	業	事務事	業No.	5010200	0415	所属課	地域開発課
	】 1. 事務事業 この事務事業を	14 - 20 11 10 - 01	<u>(</u> その2) っかけは、いつ頃どん	<b>「</b> 終給で開始され	たのか? 閉形	き削ある	ろいけら年前と	ナベてどう?	<u> </u>	)
平と策	成20年4月の北 して、桜川筑西	関東自動車道 C周辺都市整 応やインフラ	56世川筑西ICの開通を 1世川筑西ICの開通を 1時間を平成21年3月 整備など、複合的に 19世紀	契機として、桜川 目に策定した。そ	筑西ICを有効活 れをさらに具体	用した: 化する:	地域振興の指針 ため、平成25	ŀを示す必要 ∓6月には、	があり、これ 桜川筑西IC周	らをまとめたもの 辺地区整備計画を
議都	会:桜川筑西ICF 市計画審議会:	周辺について 桜川筑西IC周	者(住民、議会、事業 、企業誘致の早期実弱 辺都市整備について、 現が望まれている。	見を望んでいる。		で意見や	要望が寄せられ	こているか?	)	
(7)	改革改善を行	ŢŌ	るような手法はほぼいって、必ず実現すない。これらの不確ることなく、土地所定利用を実施するこ	おいて、リスクを 存在しない。また るというものでも 定要因を踏まえた 有権の整理等も含	、企業の進出動ない。より精度上で、リスクをめて広く検討す	向は、 の高い 軽減す	社会経済要因に 区画整理事業を る方法としてに	こ大きく左右 を実施しても は、IC周辺整	5され、基盤整 5、確実に企業 8備の取り組み	が進出するとは言え を基盤整備に限定す
(Se	e】 2. 評価の	部 * 房	則は事前評価。	郭	価 項					
1	政策体系との整治	合性 (この	事務事業の目的は市の政策			_	昔びついているか	'?)		
RA	結びついている		川市総合計画において に向けた桜川筑西IC周						が位置づけられ	<b>れており、これの具体</b>
妥②	公共関与の妥当	i性 (なぜこ	の事業を市が行わなけれ	ばならないのか?科	絵を投入して、i	達成する	目的か?)(法院	定受託事業は	その名称)	
性	妥当である		川筑西IC周辺地区は、 企業誘致は地権者の努			都市整備	請の推進は、桜	川市の責務	と考えられる。	また、土地活用およ
3	成果の向上余地	(成果を向	上させる余地はあるか?	成果の現状水準とあ	るべき水準との差	差異はな	いか?何が原因で	で成果向上が	朝待できないのだ	か?)
	向上余地がある		川筑西IC周辺地区整備 市のイメージアップに					ることによ	り、租税や雇用	用の面、業種によって
	廃止・休止の成績	果への影響	(事務事業を廃止・休止	した場合の影響の有	<b> 無とその内容は</b>	?)				
有 効 性	影響有	松	川市の拠点整備が遅れ	1ることになり、 <del>!</del>	ラえる影響は大 <sup>®</sup>	きい。				
5			可能性 (類似事業や は体的な手段、事務事業			/外の取り	)組みも含む))			
	統廃合ができる		3市基盤の整備には、 9リスクを解消すること		ることから、企	業誘致の	D動向とタイミ	ングを合わ	せて実施してい	ハくことで、先行投資
XX)	事業費・人件費の	の削除余地(	(成果を下げずに事業費	<b>髪を削除できない</b>	か?やり方をエ	夫して致	正べ業務事業を	削減できな	いか?)	
率性	削減余地がある		間企業との連携により れれば、地権者意向を					が見込める	。また、地権を	<b>当の積極的な同意が得</b>
$\sim$	受益機会・費用	負担の適正化	比余地 (事業の内容が	一部の受益者に偏っ	ていて不公平では	はないか	?受益者負担が公	公平・公正に	なっているか?)	)
平性	公正・公平であ		が が が が が が が が が が が が が り た り た り り り り			れている	ると考えられる	0		
(Pla	n】 3. 評価約 1次評価者と		今後の方向性(次年度 結果	計画と予算への原		振り返り	<ol> <li>反省点)</li> </ol>			
27 39 42	目的妥当性 ■ 可効性 □ 动率性 □ 公平性 ■	適切   適切   適切   適切	□ 見直し余地あ ■ 見直し余地あ ■ 見直し余地あ □ 見直し余地あ □ 見直し余地あ	り り り り り	筑西IC周辺地区 プロジェクト(企	整備計画	画については、			との協議を経て、桜川 いた体制で策定作業を
(3)	今後の事業の方	凹性		(複	数回答可)					・改善による期待成果
			▶□ 改革改善を行う-		的の再設定  効性の改善		3 公平性の改	善	(終了・廃山	- ・休止の場合は記入不要) - コスト - Wild Laft Laft Laft Laft Laft Laft Laft Laft
(5)			▶ □ 現状維持 で解決すべき課題(壁	,	旅廃合ができる 		」 連携ができ	io 丿 	向上	削減維持増加
より料でリス	D進出動向は社会 情度の高い区画整 スクを軽減する方	会経済要因に 整理事業を実施 対法としては、	大きく左右され、基盤施したとしても確実に ・ IC周辺整備の取り のプログラムを確定さ	整備を実現したか 企業が進出すると 組みを基盤整備に	:は言えない。こ :限定することを	これらの なく土地	不確定要因を設 所有権の整理す	沓まえた上 ら含めて広	成排	
									(6)事務事成果優先度調	事業優先度評価結果 平価結果
									コスト削減優	先度評価結果
(Ch		忍及び改革改	善に向けての指摘事項		(2) 部長確認	2及び評	価 (課長評価	面により、C	 C、D判定及び	確認が必要な場合)
	長確認後の評価				確認欄					· · · · · · ·
		。 (現状維持) (改革改善な		廃止、休止価へ提出	U 任 市 山 竹 東					